

バルブ分解時 治具とボルトで指を挟んだ**【発生状況】**

バルブの分解作業において、治具（約40kg）を使用してハンマリングを行っていた際、治具を持っていた手指がボルトに接触し指を挟まれた。（骨折）



作業エリアが狭かったため、重量のある治具を一人で扱っていた



治具 (約40kg)



※被災時は革手袋を着用していた

【原因・問題点】

- ①ハンマリング作業時に手元が狂ったが、機器の損傷による品質トラブルが頭をよぎったため、とっさに手を離すことができなかった。
- ②ボルトが固着しており、治具の手持ち箇所以外のものは、手工具で取り外すことができなかった。

【対策】

- ①瞬間的な判断は難しいが、手工具や治具を用いた作業では手指の挟まれなどの危険があることを常に頭に入れながら作業を行い、万が一の場合でも安全最優先の行動がとれるように心がけておく。
- ②作業に支障のある干渉物はできる限り取り外してから作業を行う。（本事例の場合、バーナーでボルトあぶって緩めるなど）